

ふるさと 春の訪れ

豊かな自然の中で、暮らし遊んだ子ども時代。唱歌「故郷」の「雨に風につけても思い出する故郷」を持つ人は幸せだ。今月は、そんな皆さんに、ふるさとの自然や思い出を書いていただきました。



新潟県

高尾 ことさん(鶴瀬西2)

私のふるさとは新潟県三条市下保内です。農業と四季折々の花木を育て庭師で生計を立てています。

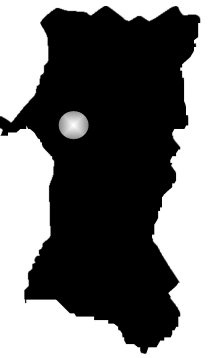


生家の庭にて

屋号よりも何々植物園でわかります。市の木は五葉松です。生家のすぐ後ろにあります。遊歩道を登って眼下に越後平野、遠くは弥彦山、新潟の町並みを望むことができます。新潟という米はコシヒカリが有名です。お酒は越乃寒梅です。女子が誕生すると桐の木を植えます。成人するころに桐だんすが作れるくらいに成長が早い木だそうです。花は薄紫で、房で咲くこの花が私は好きです。10月に入って秋風が吹くと植物の冬垣根を作ったり、家周りを木の板で包囲します。夜中静かだと思っていると2階の窓のところまで真っ白です。台所の寒いところに太いつららが下がっています。お寺の高い石段を使用してソリですべったり、頂上まで足で登ってスキーを楽しみました。3月になりヨモギ草と笹をとって笹団子を作って食したときに春が来たと感じます。そのころ、県の木で赤い雪椿が咲きます。

秋田県

廣嶋 博夫さん(関沢2)

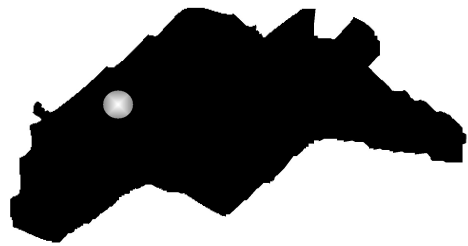


秋田といえば世界遺産の白神山地をはじめ竿燈まつり、なまはげ、大曲の花火、玉川温泉等が有名ですが、私の故郷五城目町は「朝市」といわれる四季折々の地元新鮮野菜等の露店市が500年以上開催されています。私の好物だまこ



なまはげ

鍋はご飯を半ごろしにするのが特徴できりたんぼは焼いた棒状型、だまこはゴルフボール型です。また今でも自然豊かな光景のひとつとして映画「釣りキチ三平」のロケ地として有名となったコケ岩の上に杉、ブナ、カエデの木が這っている奇岩「ネコバリ岩」があり散策スポットになっています。町のシンボルの山、森山を眺め清流馬場目川では父といっしょに網で鮎を捕らえたり泳いだことが今でも思い出されます。「自然は力なり、ふるさとは力なり、人間にとって根源はそこにあり」と釣りキチ三平の作家矢口高雄は言っています。コロナ禍が収束したら久しぶりに自然を求めて帰郷したいと思っています。



香川県

佐藤 美保さん(鶴馬)

私のふるさとは四国、香川県善通寺市です。香川県といえば皆さん第一に思い浮かぶのは讃岐うどんですよね？しかし、香川にはうどんの他にも、おいしいものや素敵な場所があります。少しだけ紹介させていただきます。



瀬戸内海サンセット。すばらしい夕景です。カラーでないのが残念です。

→ 船も通っていました

まずは「骨付鳥」です。私が子どものころからよく食べていた料理で、今ではうどんの次に有名になっています。鶏のもも肉を骨付きのまま塩こしょうなどで味付けをしてこんがり焼上げた、ビールにぴったりの味です。県内には数多くのお店があり、どのお店も独自の味を守っています。

次の自慢は海です。まるで大きな池のように波の穏やかな瀬戸内海は、小さな子どもも安心して遊べるふるさとの海です。小さなころは海に顔を付けながら釣り竿をたらし魚釣りなどをして遊んでいました。

ふるさと香川県は1年をとおしてどの季節も素晴らしいです。離れて暮らしてみても初めて良さを感じるものですね。



隣県徳島祖谷のかずら橋にある「琵琶の滝」

鹿児島県

高山 翠子さん(関沢2)



私の郷里は鹿児島市です。小さいころ、春になると実家の近くにある島津家代々の当主が祭られている墓によく遊びに行っていました。すごく広い墓地には、いろんな木や花が植えられていました。その広場で、ゴム跳び、縄跳び、ビー玉遊び、缶けり、かくれんぼ等をして過ごしました。

墓石は大きな塚の上にあり、その土盛りの斜面にはいろいろな草花が生えており、スミレを見つけるのが好きでした。そっと丁寧に抜くのですが、うまく抜けずに折れてしまい、がっかりしたのを思い出します。大木の桜や海棠の鮮やかな花を眺めるのも好きでした。それにもうひとつ、真木の枝にぶら下がってターザンごっこをしたり、梅の木によじ登ったりして遊んでいたのが、あだ名が「すいこザル」と呼ばれていました。里帰りすると今でも幼い日を思い出し、吹き出してしまいます。おてんばでしたからね。



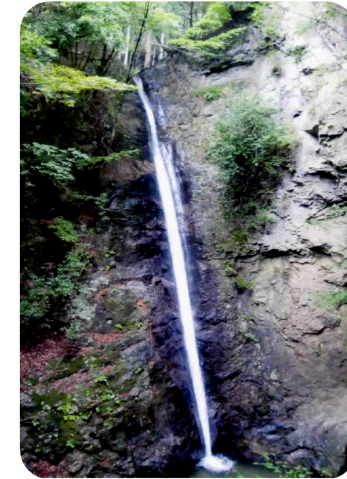
仙巖園(磯庭園)から桜島を望む
真木の木

群馬県

中川 マユミさん(関沢3)



私の育った群馬県南牧村は、標高800mから1400m前後の山々に囲まれた村です。



南牧村は滝の里。23もある滝のひとつ「線ヶ滝」

山あり谷あり、里に梅、桃の花が咲きだすと春の始まりです。山の斜面の山間に目をやると、ふきのとう、せり、よもぎ、のびるなどたくさんの山菜が芽吹きます。その食材で天ぷら、おひたし、だんごなどおいしくいただきます。桜の花が咲き山々に若葉が出ると、うど、わらび、ごごみ、ぜんまい、たららの芽などが芽を出します。

うど、たららの芽は天ぷらに、わらび、ぜんまい、ごごみは煮物と料理方法は変わります。でも山菜は下準備が必要です。きちんとあくぬきをしないとおいしくいただけません。山々が新緑に変わると、

溪流にはイワナ、ヤマメなど川魚が泳ぎます。そんな自然の中で育った私は梅、桃の花を見ると今年もがんばろうという気持ちになります。時代も変わり、若者も郷里を離れ年老いた人たちが多く、近年消滅可能性都市トップテンに入っていますが、今年も春(山菜)を求めて田舎へ出発。